

令和7年度事業計画書

当財団は、定款の定めるところにより、廃棄物を適正に処理し、資源循環型社会の形成に資する事業を推進するとともに、広く公共の福祉の見地から公衆衛生の向上を図ることにより、住民の健康で文化的な生活環境の確保に寄与することを目的として次の事業を行う。

I 公益目的事業（各事業の予算額は、法人会計への区分額を含む。）

1 ごみ収集運搬業務

当年度予算	前年度予算
871,133 千円	842,819 千円
(872,124 千円)	(844,540 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

(1) 家庭系ごみ

福岡市から委託を受け、家庭から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ、空きびん・ペットボトル、粗大ごみ）の収集運搬を行う。

【収集地区予定世帯数】

（単位：世帯）

区 分	収集地区	令和7年度	令和6年度
東 区	香椎照葉	6,119	5,612
中央区	地行浜	550	543
早良区	百道浜	3,500	3,476
西 区	愛宕浜	3,654	3,619
計		13,823	13,250

(2) 事業系ごみ

福岡市から許可を受け、事業所から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ、古紙）の収集運搬及びごみ処理料金の収納を行う。

【収集地区予定契約件数】

（単位：件）

区 分	収集地区	令和7年度	令和6年度
東 区	香椎照葉、香椎浜ふ頭、 みなと香椎	194	186
中央区	舞鶴、地行浜 外	2,145	2,105
南 区	井尻、大橋、弥永 外	1,178	1,178
早良区	百道浜	94	90
西 区	愛宕浜、小戸	24	60
計		3,635	3,619

(3) 公共施設等の資源物収集運搬業務

福岡市から委託を受け、区役所や市民センター等の資源物回収拠点で回収された空きびん・ペットボトルやプラスチック製品などの収集運搬を行う。

(4) 災害廃棄物の収集・運搬支援

福岡市と締結した「災害廃棄物の収集・運搬支援に関する協定書」に基づき、人員体制の構築及び人材の育成等により災害対応力を強化するとともに、福岡市から協力要請を受けた場合に、被災都市における災害廃棄物の収集・運搬支援を行う。

(5) 燃料電池車によるごみ収集運搬業務

福岡市から委託を受け、FC(水素燃料電池)ごみ収集車による家庭系ごみの収集運搬を行う。

(6) 食品廃棄物の収集運搬

循環型社会の推進に向けて、事業所から分別して排出される食品廃棄物を、リサイクル施設に搬入し資源化を推進する。

2 福岡市家庭系ごみ処理手数料徴収事務

当年度予算	前年度予算
939,967 千円	865,816 千円
(939,967 千円)	(865,816 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

福岡市から委託を受け、指定袋（家庭用ごみ袋）の調達、保管及び指定袋取扱店（小売店）への配送を行うとともに、ごみ処理手数料の調定、収納を行う。

また、令和6年度に引き続き、ごみ出しに使えるレジ袋「ふくレジ（10L、15L）」の調達を行う。

【調達予定枚数】

（単位：千枚）

区 分	令和7年度	令和6年度
可	89,000	91,566
不燃物用	6,500	7,564
空きびん・ペットボトル用	6,100	7,606
計	101,600	106,736

3 福岡市粗大ごみ受付センター業務等

136,792 千円	132,206 千円
(136,792 千円)	(132,206 千円)

福岡市から委託を受け、家庭から排出される粗大ごみの収集受付を電話、ファックス、インターネット、LINEにより行うとともに、ごみ処理全般に関する市民からの相談・要望等への対応を行う。

4 福岡市粗大ごみ処理手数料収納事務

当年度予算	前年度予算
31,920 千円	39,460 千円
(31,920 千円)	(39,460 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

福岡市から委託を受け、粗大ごみ処理券（300 円券、500 円券、1,000 円券）を市指定の取扱店（コンビニ、個人商店等）に納品するとともに、粗大ごみ処理手数料の収納を行う。

5 福岡市し尿収集運搬業務

196,045 千円	188,276 千円
(196,045 千円)	(188,276 千円)

福岡市から委託を受け、家庭や事業所のし尿収集（定期収集）及び工事現場や福岡マラソンをはじめとするイベント会場に仮設されたトイレのし尿収集（臨時収集）を行う。

【収集予定数】

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度
定期収集	1,014 世帯	1,080 世帯
臨時収集	13,200 件	13,800 件

6 福岡市し尿処理手数料徴収事務

51,733 千円	55,224 千円
(51,733 千円)	(55,224 千円)

福岡市から委託を受け、し尿処理手数料の調定、収納を行う。

7 福岡市葬祭場管理運営業務

653,341 千円	644,535 千円
(653,341 千円)	(644,535 千円)

指定管理者として、里山等の緑豊かな環境に囲まれ市民に安らぎとゆとりを与える「刻の森・福岡市葬祭場」において、厳粛な場に相応しい接遇とサービスの提供に努め、火葬予約受付、火葬料等の徴収、会葬者案内、火葬施設等の維持管理を行う。

8 排水設備完了検査業務

54,311 千円	50,354 千円
(60,392 千円)	(61,891 千円)

福岡市、古賀市及び糟屋郡 5 町（宇美町、篠栗町、須恵町、久山町、粕屋町）から委託を受け、排水設備（家庭等から出る汚水及び雨水を公共下水道に排水するための設備）の新設等に係る工事の完了検査を行う。

9 福岡市西部3Rステーション管理運営業務

当年度予算	前年度予算
59,425 千円	60,289 千円
(54,459 千円)	(51,601 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

指定管理者として、福岡市西部3Rステーションの管理運営を行う。事業としては、重点的に減量に取り組む3品目「古紙」、「プラスチックごみ」、「食品廃棄物」を中心に、3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する啓発や情報発信、講座・イベントの開催、不用品の引取・提供等、循環型社会の形成に資する事業を企画、実施する。

また、地域や環境活動団体のみならず企業や学生等とも連携・共同し、より広く市民への啓発活動を展開するとともに地域で活動するリーダーやボランティア等の人材育成を行う。

【来館者数等】

(単位：人)

区 分	令和7年度目標	令和6年度見込み
施設内事業利用者	50,000	50,600
施設外事業利用者	7,000	6,100
計	57,000	56,700

10 自主事業

137,333 千円	73,975 千円
(114,799 千円)	(43,216 千円)

(1) 廃棄物埋立管理技術普及啓発事業

(独)国際協力機構からの委託により、開発途上国から研修員を受入れ、準好気性埋立構造（福岡方式）による廃棄物埋立管理技術についての実技研修等を行う。

福岡方式グローバルネットワークの取組みとして、「福岡方式」に携わる技術者を対象に国内専門家向けの研修を実施し、適正な技術の理解と的確な技術移転の推進を促す。

また、最終処分場の技術管理者等を対象に、これまでの福岡方式に関する取組みや成果を共有するオンラインやオンサイトによるセミナーを新たに実施する。

(2) 環境学習事業

小学生をはじめ、広く市民を対象にごみ減量や環境問題に関する啓発を行うため、放課後児童クラブ出前講座等の環境学習事業を実施する。また、令和5年度から、福岡市の「環境教育・学習人材リスト」に登録している人材等を講師として派遣する「環境わくわく出前授業」を受託しており、令和7年度も継続予定である。

また、福岡市が実施する「小学校における食の資源循環推進事業」の一環で、給食から発生する調理くずなどの堆肥化に関する授業を実施する。

【実施予定数】

区 分	令和7年度	令和6年度
放課後児童クラブ出前講座	20 回	25 回
環境わくわく出前授業	70 回	50 回
小学校における食の資源循環推進プログラム (令和6年度：食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業)	8 校	6 校

(3) 環境啓発事業

環境意識の向上を図ることを目的に、小学生とその保護者を対象に夜間ごみ収集の見学を行う「ごみ収集ミッドナイトツアー」を開催する。

また、福岡市が実施する環境フェスティバルやラブアース・クリーンアップ等の環境啓発イベントに参画するなど、環境分野における市民啓発活動を行う。

【実施予定数】

(単位：回)

区 分	令和7年度	令和6年度
ごみ収集ミッドナイトツアー	2	2

(4) 食品廃棄物資源化推進事業（福岡市との共同事業）

① コンポスト学習事業

小学生等を対象に、福岡市のごみの現状や環境問題についての講習を行うとともに段ボール箱を利用した生ごみ堆肥作りからその利用までの実践活動を支援する。

【実施予定数】

(単

区 分	令和7年度	令和6年度
コンポスト学習事業	5	4

② 補助金交付事業 ※

市民、事業者が取り組む食品廃棄物の減量や資源化に対する各種補助に関する申請受付や補助金交付等の事務を行う。

【補助枠等】

区 分	令和7年度	令和6年度
家庭用生ごみ堆肥化容器購入費補助金	400 件	430 件
事業系食品廃棄物分別保管場所等整備費補助金	50 件	50 件
事業用生ごみ処理機導入支援補助金	50 件	50 件
食品廃棄物資源化費用補助金	52,000 千円	—

③ コミュニティガーデンの開設支援 【支援予定件数】 6 事業者

事業所から排出される食品廃棄物の堆肥化推進及び生ごみ堆肥の活用促進を目的として、事業者がビルの屋上等のオープンスペースで野菜や花を育てる「コミュニティガーデン」を開設するための支援を行う。

また、「コミュニティガーデン」は事業者により規模や様態が異なることから、より適した提案を行うことができる人材（コミュニティガーデンコーディネーター）を育成する。

※令和7年4月に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第11条に基づく変更認定申請を予定。

(認定までの間は、法人会計に区分)

(5) その他の取り組み

① 環境に関する調査・研究等

広く公共の福祉の見地から、公衆衛生の向上を図ることにより、住民の健康で文化的な生活環境の確保に寄与することができるよう、環境に関する調査研究を行うとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みや財団の将来を見据えた検討を行う。

② エコアクション21の認証更新

環境

の認証更新を通じ、財団の事業活動に伴う環境負荷の継続的な低減を推進する。

③ 脱炭素につながるアクション啓発・支援

海草など、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素に着目した「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」によるクレジットを購入することで、博多湾の環境保全活動を支援する。

④ 電動化・再エネ活用推進

脱炭素へ向けた取り組みの一環として、業務用軽車両の電気自動車への計画的な切替えを進めるとともに、使用電力は再生可能エネルギー由来電力を調達する。

Ⅱ 収益事業（各事業の予算額は、法人会計への区分額を含む。）

1 土地貸付等事業

当年度予算	前年度予算
3,839 千円	2,942 千円
(19,229 千円)	(19,193 千円)

※上段は事業費、下段は収入を表す。

(1) 土地貸付事業

旧西営業所用地について、公益目的事業の推進に資するための安定的な財源を確保するため、事業用定期借地権の設定による土地貸付を行う。

(2) 雑収入

団体